

服薬フォロー機能を標準搭載

ユニケソフトウェアリサーチ「P-CUBE n」

ユニケソフトウェアリサーチは「薬剤師による対話をサポートし、患者さまの『物語』に寄り添う医療の実現を目指す」をコンセプトとした電子薬歴レセコン一体型システム「P-CUBE n（ピーキューブエヌ）」を2021年1月に発売する。

大きな特徴は、対人業務の時間を創出できるよう、薬歴作成を効率化する設計や機能を電子薬歴システムに搭載したこと。これまで、個別に入力作業を行っていた「頭書き情報」「薬歴入力」との連携を実現。薬歴入力にかかる手間を省略させた。

また、処方監査から薬歴入力完了までの操作の動線を徹底的に見直すなど、画面レイアウトの大幅変更と合わせ、システム運用をより効率化させた。

さらに、薬剤ごとに指導要点をまとめたガイド機能、薬局ごとにカスタマイズできるようにしたほか、患者の属性に基づいた絞込機能の搭載により、一人ひとりの患者に対応した服薬指導と薬歴入力の省力化も同時に実現した。

薬機法改正に伴い、9月から義務化された服用期間中の患者服薬フォロー機能も標準搭載。年代問わず広く利用されているLINEのサービスを活用した患者コミュニケーションツールを採用したことで、チャット形式でのコミュニケーションを可能にし、効果的で継続的なフォローアップを実現した。LINEでのやり取りやコミュニケーションの記録を、電子薬歴と連動させることで薬歴入力の効率化も図っ

た。このほか、処方薬や症状に応じたフォローを行うための指導コンテンツも搭載し、より効果的な服薬フォローを行うと同時に、薬歴記載への負担も軽減する。

経営管理・在庫最適化サービス（Stock Optimization Service：SOS）は、チェーン店本部向けの経営管理機能と、店舗向けの在庫最適化機能を備えた薬局経営の可視化を図るクラウド型システム。店舗の在庫情報と連携し、グループ内の各店舗の在庫状況、他店との共有（分譲・引き取り）がシームレスに行えるだけでなく、オンラインからクラウドシステムへと移行し、本部管理システムの導入や運用コストの負担を軽減した。

同社は、薬局の利用者に「薬剤師は身近な頼れるパートナー」とのメッセージを広く発信するため、「アンサンブルシンデレラ 病院薬剤師 葵みど



り」とコラボした特別企画「もっと近くに。薬剤師応援キャンペーン」を今月1日から開催。キャンペーンでは、薬局業務を支援するノベルティのプレゼント企画も実施する予定。

自動薬剤ピッキング装置発売

ユヤマ「DrugStation」

ユヤマは、処方箋の内容に基づく医薬品の取り揃え（ピッキング）業務を自動で行う自動薬剤ピッキング装置「DrugStation（ドラッグステーション）」を8月に新発売した。

DrugStationは、本体部とピッキング台で構成されている。本体には、薬品トレイが整然と配置され、薬品箱だけでなくPTPシート、漢方、点眼薬、軟膏チューブ、予製した分包品などが収容可能。薬品トレイは、S・M・Lの3サイズあり、仕切を使うことで、一つの薬品トレイにおいてもSとMは2薬品まで、Lは2薬品から最大5薬品まで収容できる。基本構成サイズ(幅3600mm仕様、ピッキング台1台構成)でS・M・Lトレイの組み合わせ次第で約1200種の薬品を搭載できる。

動作としては、レセコンからの処方情報をDrugStationが受信すると本体のリフターが該当する薬品トレイを取り出し、ピッキング台へ運ぶ。ピッキング台にトレイが到着すると薬品払出シャッターが開き、目の前にある薬品

の詳細が表示されたモニターを見ながら、必要数を取り揃える。

薬品払出シャッターは、複数薬品を収納しているトレイでもピッキング対象薬品の箇所しか開かないように設計されているので、薬品の取り間違いを防止することができる。

PTPシートの端数（シートをカットしたもの）はカメラの画像処理で確認、シートは天秤を使った重量確認のチェック機能を持つ。

次の薬品は、払出口近くに既に待機しているため、点灯しているシャッターボタンを押すと、次の薬品と入れ替わってすぐにピッキングができる。

薬品取り揃えが完了すると、ピッキング結果が出力されるので、最終鑑査などに活用できる。

また、本体への薬品の入庫作業も容易であり、薬品の元箱に印刷されたGS1コードをバーコードリーダーで読み取ると対象の薬品トレイがピッキング台の充填トレイシャッター部へ運ばれてくる。再度、元箱のGS1コード

を読み取ると充填トレイシャッターが開き、薬品の充填ができる。対象薬品が複数あっても、連続して呼び出し、効率的な業務が可能だ。一つの薬品トレイを仕切って使っている場合でも、充填対象となる薬品の箇所しかシャッターが開かないので、入れ間違いは起こらない。また、GS1コードに含まれている薬品の入数や有効期限、ロット番号なども自動的に本体側に入力されるので、入庫業務の効率化を図ることができる。

医薬品のピッキングに関しては、2019年4月2日に厚生労働省から「調剤業務のあり方について」が発出され、調剤に最終的な責任を有する薬剤師の指示に基づき、当該薬剤師の目が届く場所で、薬剤師以外でも医薬品の必要量を取り揃える行為が可能となった。



ピッキング業務は、調剤室内を動き回って薬品を取り揃えるために一定の時間を要していたが、DrugStationでは、目の前に出現する薬品トレイに入っている薬品をピッキングするため、ベテラン、若手、薬剤師以外、どなたでもピッキング業務を平準化することができる。そのため、薬剤師の時間創出や精神的負担軽減、待ち時間短縮など患者満足度の向上にもつながる。

第53回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <p>ゼリア新薬工業株式会社</p> <p>〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町一〇一ー一 代表取締役社長 伊部 充弘 電話 〇三(三六六三)二三五一(代表)</p>	 <p>大塚製薬株式会社</p> <p>〒108-8242 東京都港区港南二一十六ー四 東京本部 電話 〇三(六七七七)一四〇〇(代表)</p>	<p>第一薬科大学</p> <p>〒815-8511 福岡市南区玉川町二二一ー一 電話 〇九二(五四一)〇一六一</p>	 <p>大阪薬科大学</p> <p>学校法人大阪医科大学 〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原四一〇〇ー一 電話 〇七二(六九〇)一〇〇〇</p>	 <p>京都薬科大学</p> <p>〒607-8414 京都市山科区御陵中内町五 電話 〇七五(五九五)四六〇五</p>	<p>立命館大学 薬学部</p> <p>〒525-8577 滋賀県草津市野路東一丁目一 電話 〇七七(五六一)二五六三</p>	 <p>新潟薬科大学</p> <p>〒956-8603 新潟市秋葉区東島二六五ー一 電話 〇二五〇(二五)五〇〇〇番</p>	 <p>横浜薬科大学</p> <p>〒245-0066 神奈川県横浜市戸塚区俣野町六〇一 電話 〇四五(八五九)一三〇〇番</p>
--	--	---	--	--	--	--	---